

シクマ研究委員会燃料核データ専門部会

崩壊熱評価ワーキング・グループ第3回会合議事録

1. 日時 : 昭和49年9月10日(火) 13:30-17:00
2. 場所 : 原研本部第3会議室
3. 出席者 : 中嶋(法政大), 山田(早大), 大竹(富士), 玉井(京大炉), 田村, 田坂, 梅次(研原), ヌケラン(PNC), 村田, 吉田, 飯島(NAIG)

オブザーバー: 飯田(NAIG)

4. 配布資料

- (i) 前回議事録
- (ii) 学会誌1975年1月号特集の要領案(編集委資料1974年6月14日, 更田, 中嶋)
- (iii) Decay Data 文献調査フォーム案(村田)
- (iv) ^{235}U 熱中性子核分裂によるFP崩壊熱の実験値評価(I) -GE評価のフォロー——(飯田)

5. 議事

- 1 前回議事録確認
- 2 本委員会の報告(中嶋)
 - 人事, ○S.50年度概算要求経過, ○文献複写依頼について
 - 議事録配布先について, ○核燃料計量ワーキング・グループ
- 3 前回宿題のフォロー
 - 3(i) 吉田: 早大の計算コードを, 今週末にカードフォームで受けとることになっている。

(iii) 田坂：田坂・ 本のコードの入力データリストは多量なのでどうするか。Decay heat に対する核種の寄与度を提出する。

4. 原子力学会誌特集の執筆分担（大竹）

配布資料案に基づいて議論した。表題を「核分裂生成物の崩壊熱」としようということになった。原稿は核データ研に送り，中嶋，梅沢，田坂，田村氏達がまとめる。そのさい，原稿に対して幾らか手入れをすることを諒承する。その他，詳細な議論は省略。

5. 文献調査フォーム案（村田）

配布資料のフォーム案について討議し，諒承された。

ORNL の recent reference に基づいて $A = 66-176$, $T_{1/2} \lesssim 1000 \text{ sec}$ を対象とする。

田坂氏から主だった核種，特に怪しい核種をえらび出す。（次回迄に出せる。）

集まったデータから，decay heat 計算に必要な量を求める。

次回に収集する核種と分担を決める。

6. FP 崩壊熱の実験評価（I）-GE 評価のフォロー——（飯田）

配布資料について説明を行い，討論があった。GE の評価との食違いが指摘された。

次回：10月31日（木）東海